

年末に向けて、よくある汚れを解決!! 汚れの解説と取り方

車をキレイにしてから新年を迎えたい!12月は洗車・コーティングの最需要期です。車をさっぱりキレイにしたい方、1年しっかり溜まった汚れをスカッと落としたい方まで来店されます。そこで、年中通してつく主要な汚れ「水アカ」「水ジミ」「鉄粉」と、冬によくある汚れの解説と取り方をお伝えします!

1 水ジミ



汚れの解説

- 水道水・地下水・黄砂の雨などの水滴が、車のボディの上でそのまま乾くと付く。
- 原因は、水道水などに含まれる無機質(=ミネラル分)。
- 無機質は親水性(水を弾かない)のため、コーティングの水はじき効果を妨げる要因にもなる。
- 黒色など濃色車の方がよく見える。

汚れの取り方(水ジミ・水アカは同じ施工方法です)

A.コーティング施工車は「ミネラルオフ」

- 洗車後、「ミネラルオフ」をスポンジに付けて擦り落とす。その後、車のボディに残った「ミネラルオフ」を「マイクロファイバークロス」で拭き取る。
- キーパー施工車なら「ミネラル取り洗車」。洗車時の拭き上げ時に、極少量の「ミネラルオフ」もしくは「レジン2※クリスタル、ダイヤ、Wダイヤの場合」を含ませたクロスで拭き上げて落とす。

「ミネラルオフ」や「ミネラル取り洗車」は、コーティング被膜を傷めずに汚れを落とすことができます。

B.コーティング再施工時、コーティングしていない車は「爆ツヤ」

- 洗車後、「爆ツヤ」を2~3分程度付け置きしてから、スポンジで擦り落とす。

「爆ツヤ」は、安全かつ、洗浄力と作業性がベストバランス。強く擦ってもむしる艶が出る。



C.1年間しっかり溜まったひどい汚れは「爆白ONE」

- 洗車後、「爆白ONE」を2~3分程度付け置きしてから、スポンジで擦り落とす。

ここでは、安全かつキーパー最強のクリーナー「爆白ONE」が大活躍!蓄積した汚れをすっきり落とすことで、その後のコーティングの定着も良くなる。



※濃色車のひどい水アカ汚れも「爆白ONE」が有効!

- 洗車後、「爆白ONE」を2~3分程度付け置きしてから、スポンジで擦り落とす。汚れがまだらに残っていても、再度「爆白ONE」でよく洗浄すれば必ずキレイになる。
- 汚れを落ちて丸裸になった塗装面の肌が荒れていても、「ガラスアップゼロ」をスポンジに付けて擦ると整う。たいいていの場合、その後のキーパーコーティングで十分にキレイになる。

4 融雪剤



汚れの解説

- 塩=無機質のため、頑固にこびり付くと、コーティングの水はじきの邪魔になる。
- 融雪剤の主成分は「塩(塩化カルシウム、塩化ナトリウムなど)」。
- 降雪時期に、道路にまかれる融雪剤が跳ね上がって車にこびり付く。

汚れの取り方

A.水に溶けやすいため「高圧水」と「ブレーキダストBDC」

- 融雪剤は水に溶けやすいため、「高圧水」をかけ続けて落とす。
- 補助剤として、事前に「ブレーキダストクリーナーBDC」をたっぷりかけておくと、融雪剤と一緒に跳ね上がって付いた汚れ(泥や鉄粉など)がよく落ちる。



B.A.でコーティングの水ハジキが戻らない場合は「ミネラルオフ」「ミネラル取り洗車」

- 洗車後、「ミネラルオフ」をスポンジに付けて擦り落とす。その後、車のボディに残った「ミネラルオフ」を「マイクロファイバークロス」で拭き取る。



- キーパー施工車なら「ミネラル取り洗車」。洗車時の拭き上げ時に、極少量の「ミネラルオフ」もしくは「レジン2※クリスタル、ダイヤ、Wダイヤの場合」を含ませたクロスで拭き上げる。



5 12月に向けた新メニュー メッキクリーニング



汚れの解説

- 窓枠やバンパーにある、メッキパーツのシミ汚れは、主な原因が水ジミと同じく水道水や黄砂の雨に含まれる「無機物=ミネラル分」。
- メッキパーツは日本車に多い。ドイツ車の窓枠はアルミ合金を採用。

ピカピカのメッキに仕上げ、高級感を取り戻す。
「メッキクリーニング」

販売価格 6,100円(税込)

汚れの取り方

メッキのシミ汚れも「ミネラルオフ」

- 洗車後、「ミネラルオフ」をスポンジに付けて擦り落とす。その後、車のボディに残った「ミネラルオフ」を「マイクロファイバークロス」で拭き取る。



※注意!!

- メッキが剥がれる恐れがあるため、強い力で擦らない。
- 同様の理由から、掻き取り効果の強い「マイクロファイバークロス」に「ミネラルオフ」を塗布して作業しない。

